

(様式 1)

スポーツ団体ガバナンスコード<一般スポーツ団体向け>に係るセルフチェックシート

[団体名：伊那市スポーツ協会]

[記載日：令和 7 年 2 月 21 日]

【対応状況に係る自己評価】

A：対応している

B：一部対応している

C：対応できていない

項目	対応状況
原則 1 法令等に基づき適切な団体運営及び事業運営を行うべきである。	
(1) 法人格を有する団体は、団体に適用される法令を遵守しているか。 (現在の取組状況、今後改善に取り組む事項等)	-
(2) 法人格を有しない団体は、団体としての実体を備え、団体の規約等を遵守しているか。 (現在の取組状況、今後改善に取り組む事項等) 会則を遵守し、次の事項等に取り組み、適切な組織運営を行っている。 ① 団体としての組織を備え、多数決の原理を行い、団体としての主要な事項を確定させること ② 団体活動のための専用名義の口座を用い、財産を分別して管理・運営すること	A
(3) 事業運営に当たって適用される法令等を遵守しているか。 (現在の取組状況、今後改善に取り組む事項等) 地方自治法並びに伊那市の条例規則等の法令を遵守し事業運営に当たっている。	A
(4) 適切な団体運営及び事業運営を確保するための役員等の体制を整備しているか。 (現在の取組状況、今後改善に取り組む事項等) 総会、常任理事会等を開催し、事業・会計の報告・承認、役員改選等を行っている。	A

原則 2 組織運営に関する目指すべき基本方針を策定し公表すべきである。	
(1) 組織運営に関する目指すべき基本方針を策定し公表しているか。	B
(現在の取組状況, 今後改善に取り組む事項等) 伊那市総合計画を組織運営の基本としている。 伊那市総合計画は伊那市ホームページにて公表している。	
原則 3 暴力行為の根絶等に向けたコンプライアンス意識の徹底を図るべきである。	
(1) 役職員に対し, コンプライアンス教育を実施しているか, 又はコンプライアンスに関する研修等への参加を促しているか。	C
(現在の取組状況, 今後改善に取り組む事項等) 現時点ではコンプライアンス教育は実施していない。 今後の教育実施又は研修会参加について検討する。	
(2) 指導者, 競技者等に対し, コンプライアンス教育を実施しているか, 又はコンプライアンスに関する研修等への参加を促しているか。	C
(現在の取組状況, 今後改善に取り組む事項等) 現時点ではコンプライアンス教育は実施していない。 今後の教育実施又は研修会参加について検討する。	
原則 4 公正かつ適切な会計処理を行うべきである。	
(1) 財務・経理の処理を適切に行い, 公正な会計原則を遵守しているか。	A
(現在の取組状況, 今後改善に取り組む事項等) 財務経理は事務局職員である伊那市職員が務めており、伊那市財務規則を準用した適切な財務会計処理を行っている。	
(2) 国庫補助金等の利用に関し, 適正な使用のために求められる法令, ガイドライン等を遵守しているか。	A
(現在の取組状況, 今後改善に取り組む事項等) 長野県スポーツ振興事業補助金や伊那市補助金等の活用に際しては、関係法令や交付規則・要綱等を遵守して適正に事務処理を行っている。	

(3) 会計処理を公正かつ適切に行うための実施体制を整備しているか。	A
(現在の取組状況, 今後改善に取り組む事項等) 経理事務担当者と口座管理者は別職員が担っており、通帳は伊那市会計課で常時保管している。 また、年 2 回の伊那市職員 2 名による監査、年 1 回の監事による監査を実施し、総会において収支決算報告を行っている。	
原則 5 法令に基づく情報開示を適切に行うとともに、組織運営に係る情報を積極的に開示することにより、組織運営の透明性の確保を図るべきである。	
(1) 法令に基づく情報開示を適切に行っているか。	B
(現在の取組状況, 今後改善に取り組む事項等) 事業報告書、歳入歳出決算、事業計画書、歳入歳出予算、役員名簿等を毎年総会資料として提出し、役員に配布している。	
(2) 組織運営に係る情報の積極的な開示を行っているか。	B
(現在の取組状況, 今後改善に取り組む事項等) 事業報告書、歳入歳出決算、事業計画書、歳入歳出予算、役員名簿等を毎年総会資料として提出し、役員に配布している。	
原則 6 高いレベルのガバナンスの確保が求められると自ら判断する場合、ガバナンスコード<NF 向け>の個別の規定についても、その遵守状況について自己説明及び公表を行うべきである。	
自らに適用することが必要と考えるガバナンスコード<NF 向け>の規定があるか (ある場合は下欄に記述)	
原則 ■ について	
(現在の取組状況, 今後改善に取り組む事項等)	